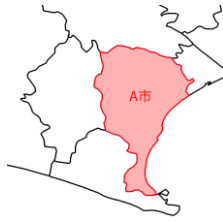
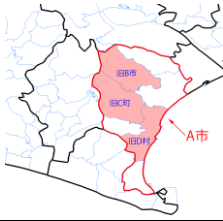


災害事例ID		1854-12-23_N1-019_Exxxxx_JP14205-008252-13	範囲精度 *2 C
現在の自治体名*1		神奈川県 藤沢市（地方公共団体コード：JP14205） 代表点座標：35.33894, 139.491116	
災害名称		気象庁：安政東海地震 出典資料：安政東海地震 一般資料：安政東海地震	
災害の種類		地震災害（地震，津波）	
自然現象		地震 震源：東海・東山・南海諸道（N 34°, E 137.8°） マグニチュード：8.4，計測値種類：（研究などから）推定されたマグニチュードの場合	
発生時期	発生日	1854年12月23日（嘉永7年11月4日）（地震文献） 1854年12月23日（安政1年11月4日）（出典資料）	
	発生時刻	五ツ半過ぎ	
出典資料		藤沢市防災会議（xxxx）：藤沢市地域防災計画 資料編，p26.（引用原典資料：嘉明年間録）	

*1：2013（平成25）年1月1日時点

災害事例ID		1854-12-23_N1-019_Exxxxx_JP14205-008252-13	
地震災害	地震	震源	東海・東山・南海諸道 (N 34°, E 137.8°)
		マグニチュード	8.4, 計測値種類: (研究などから) 推定されたマグニチュードの場合

*2：範囲精度の解説

範囲精度	事例の地理的な範囲の用例	事例範囲のイメージ
A	事例レコードの地理的範囲と災害統計値の集計エリアとが同一。	
B	事例レコードの地理的範囲(現在のA市)は、災害発生当時の旧市町村エリアよりも大きいため、実際には災害が発生していない地域も含む。	
C	出典資料に事例レコードの地理的範囲に関する記述が無く、正確な範囲が不明。(例:非常に古い災害、河川の流域)	
D	事例レコードおよびその周辺地域(隣接自治体までの範囲)を含む範囲で、かつ、事例レコードの範囲に関する情報を抽出できない。この場合、事例レコード内での被害状況は事実よりも過剰な記述となる。	
E	事例レコードを含む広域(郡、県、山麓レベル)の範囲で、かつ、事例レコードの範囲に関する情報を抽出できない。	県・地方単位